

平成 29 年度 「学校評価アンケート 前期」について

平素は本校教育にご理解・ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、今年度の学校教育目標に向け、本校教育の振り返りや夏休みまでの取組について、生徒達や保護者の皆さま、教職員にアンケートやご意見をお聞きすることで、教育活動をより充実させたいと考え、「学校評価アンケート」を実施させていただきしました。その集計と集計結果から振り返りをしましたので、ご報告させていただきます。

・点検型（単一の評価尺度を用いる形式）の適合度（そう思う～そう思わない）を用いて調査しました。

*数値の計算方法について

「そう思う」…………… 7 「あまりそう思わない」 …… 3

「大体そう思う」…………… 5 「そう思わない」 …… 1

*すべての回答を平均した結果を表示しています。



生徒アンケート

H29 1年生生徒アンケート	
質問項目	適合度
毎日、朝読書をしている。	6.1
周りの人を大切にしている。	6
学校のきまりや約束事を守っている。	6
テスト問題や解答をきちんと保存している。	5.9
学校に行くことが、たのしい。	5.9
教科書・ノートなどは家に持って帰っている。	5.7
あいさつを積極的にしている。	5.7
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。	5.7
授業はおもしろく受けられている。	5.6
出された課題は、一生懸命取り組んでいる。	5.6
学校からの配布物・プリントなどは保護者に渡している。	5.6
授業の内容がよくわかる。	5.5
道徳・学活・総合の時間は楽しい。	5.5
授業は集中してに受けている。	5.4
ベル着を守り、けじめをつけて授業にのぞめている。	5.4
学校の宿題は忘れずに提出できている。	5.4
テスト前には、計画を立てて学習している。	5.4
言葉づかいに気をつけている。	5.4
家族の一員としての役割を果たしている。	5.3
授業の進度はちょうど良く受けられている。	5.2
学校の宿題以外の学習を家でしている。	5.2
わからないことは、先生や友達にたずねている。	5.2
忘れ物はしていない。	5.1
規則正しい生活ができている。	5
相談できる教職員がいる。	4.5
H29 2年生生徒アンケート	
質問項目	適合度
テスト問題や解答をきちんと保存している。	6
周りの人を大切にしている。	5.9
学校のきまりや約束事を守っている。	5.8
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。	5.8
忘れ物はしていない。	5.6
学校からの配布物・プリントなどは保護者に渡している。	5.6
ベル着を守り、けじめをつけて授業にのぞめている。	5.4
学校に行くことが、たのしい。	5.4
あいさつを積極的にしている。	5.4
言葉づかいに気をつけている。	5.4
出された課題は、一生懸命取り組んでいる。	5.3
学校の宿題は忘れずに提出できている。	5.3
授業の進度はちょうど良く受けられている。	5.2
毎日、朝読書をしている。	5.2
家族の一員としての役割を果たしている。	5.2
授業は集中してに受けている。	5.1
相談できる教職員がいる。	5.1
授業はおもしろく受けられている。	5
テスト前には、計画を立てて学習している。	5
わからないことは、先生や友達にたずねている。	5
規則正しい生活ができている。	5
授業の内容がよくわかる。	4.9
道徳・学活・総合の時間は楽しい。	4.9
教科書・ノートなどは家に持って帰っている。	4.8
学校の宿題以外の学習を家でしている。	4.8

「生徒アンケート」結果項目をみると、全学年が共通して「周りの人を大切にしている」「学校のきまりや約束事を守っている」の適合度が高く、人を大切にするこゝとや信頼されことが大切と考えていることがうかがえました。これは昨年度と同じ結果であり、今後も大切にしていきたいと思います。1年生では「毎日、朝読書をしている」が最も高くなりましたが、他学年でも、言語活動の充実につながるように、朝の時間を大切にしていってほしいと思います。1・2年生では、生活面の項目で適合度が高く、生徒達が充実した学校生活を送っていると考えます。学年が上がるにつれて「ベル着を守り、けじめをつけて授業にのぞめている」「係や掃除、委員会の仕事がしっかりできている」と言った勤勉に学校生活を送っていかうとする姿がうかがえます。3年生は、学習面の項目についての適合度が高く、進路に向けての意識が高まっていると考えます。その中で、生徒・保護者アンケートともに「わからないところは先生や友達にたずねている」「先生に相談できる」と適合度が低い結果を謙虚に受け止め、生徒との対話・生徒同士での学び合い・保護者との対話を意識的に組み込んでいく必要があると思われます。生徒や保護者が、学習面や将来についての話ができるのは教師であり、教育者としての自覚や使命感を再認識することにより、生徒や保護者との信頼関係を確固たるものとしていきたいと考えています。

H29 3年生生徒アンケート	▲	▼
質問項目	適合度	
忘れ物はしていない。		5.8
学校のきまりや約束事を守っている。		5.8
学校の宿題は忘れずに提出できている。		5.7
周りの人を大切にしている。		5.7
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。		5.7
ベル着を守り、けじめをつけて授業にのぞめている。		5.6
出された課題は、一生懸命取り組んでいる。		5.6
授業の進度はちょうど良く受けられている。		5.5
テスト問題や解答をきちんと保存している。		5.5
毎日、朝読書をしている。		5.5
学校からの配布物・プリントなどは保護者に渡している。		5.5
授業は集中してに受けている。		5.4
部族の一員としての役割を果たしている。		5.4
あいさつを積極的にしている。		5.3
言葉づかいに気をつけている。		5.3
教科書・ノートなどは家に持って帰っている。		5.2
授業の内容がよくわかる。		5.1
学校に行くことが、たのしい。		5.1
テスト前には、計画を立てて学習している。		5
規則正しい生活ができている。		4.9
わからないことは、先生や友達にたずねている。		4.8
道徳・学活・総合の時間は楽しい。		4.8
学校の宿題以外の学習を家でしている。		4.7
相談できる教職員がいる。		4.7
授業はおもしろく受けられている。		4.6

体験させて、また、保護者や教師に評価されることで、自尊感情・自己肯定感が築かれ、自らの力で歩んで行ける一つの糧になっているのではないかと思います。

保護者アンケート

H29 保護者アンケート	▲	▼
質問項目	適合度	
お子様は、楽しく学校生活を送っている。		6
学校行事や部活動は、お子様にとって有意義なものとなっている。		5.8
お子様には、相談できる友達がいる。		5.7
お子様には、相談できる教職員がいる。		5.6
教職員は、保護者との連携を図るように努めている。		5.2
学校からの情報や案内は家庭に伝わっている。(ホームページやプリントなど)		5.2
学校の授業は、わかりやすく工夫した授業である。		4.9
お子様は、きまりや約束を守って行動できている。		4.9
お子様は、学校での出来事を話してくれる。		4.5
授業での器具や学校の施設・設備は整っている。		4.4
お子様は、家庭学習の習慣が身についている。		3.4

3年

教職員アンケート

H29教職員アンケート	▲	▼
質問項目	適合度	
学級だより・学年だよりなどにより、学校の様子を伝えている。		5.9
朝読書の習慣をつけてきている。		5.8
授業参観や懇談の機会は十分にもっている。		5.8
各時間の目標を明確にした授業ができている。		5.7
生徒たちが安心して通える学校づくりができている。		5.6
しっかりあいさつのできる学校づくりをしている。		5.6
授業や行事などバランスの良い年間教育計画が組まれている。		5.4
必要に応じて、学校での様子を家庭に伝えている。		5.4
生徒にとってわかりやすい授業ができている。		5.2
基礎的な学力を身につけられている。		5.2
人を尊重する態度を育てている。		5.1
宿題を適度に課するなど、家庭学習の習慣化に取り組んでいる。		5.1

授業を工夫するなど自己研鑽に励み、「子どもが自ら主体的に学ぶ」力を身に付けられるように、全力で取り組まなければならないと考えています。

「計画を立てて学習をしている」「宿題以外の学習を家庭でしている」「先生や友達にたずねている。」「規則正しい生活ができている」が下位にあり、子どもたちは、目標を持つが、それに向けて具体的な計画を立てることに戸惑っているのではないかと思います。見通しを持った生活に向けて、キャリア教育の充実を図り、自らの「志」(目標)に向けたライフプランをしっかり持たせることが大切です。日々の生活において、学校と家庭が連携して「目標の設定」や「時間の管理」のプランニングやスケジュールリングが必要ではないかと考えます。「やるべきことを自らが考え、計画を立て、出来るようになる。」行事に向けての取り組みや定期テストに向けての取り組みなど教科指導・学級指導・部活指導において、粘り強く行っていく必要があると考えます。そして、出来たことによる達成感を

「保護者アンケート」では、「子どもは学校へ楽しく通っている。」「学校行事や部活動は有意義なものとなっている」の項目が上位にあり、学校生活・行事について評価して頂いてると考えます。

しかし、生徒・保護者・教職員アンケートともに、学習面に対して適合度が低く、特に「わかりやすく工夫した授業」「基礎的な学力を身につけられている。」など「学習内容がわかる」ことへの心配をもたれていることがわかります。昨今、特別支援教育(インクルーシブ教育)の充実に向けての取組をすすめられていますが、各教科での授業においてユニバーサルデザインによるわかりやすい教室環境づくり・授業づくり、安心して学べる仲間づくり、満足感や成就感が味わえる学習活動の設定などの更なる取組を行うことが必要と考えます。また、「全体的な基礎的な学力の向上を図る」ための学習習慣・生活習慣の確立に向けて、「生きる力」を育み、「自ら学び・自ら考える力」を探究的な活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力の充実を図っていくことが必要だと考えます。そのためにも、教師一人一人が、授業の実践発表会や研修会へ積極的に参加し、

アンケート結果より

アンケートへのご協力ありがとうございました。学校運営に対するみなさまの忌憚のないご意見・評価をうかがうことにより、私たち教職員は自らの指導を振り返り、必要に応じて反省と改善を加え、今後の本校の発展と生徒の学校生活の充実に努めなければなりません。生徒の豊かな育ちのために、教職員がチームとなり、学校と家庭でスクラムを組んですすめてまいりたいと思います。今後とも本校の教育活動に格別のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。